

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

旧CAI学会

## ニュース・レター No.104



### 第76回研究会開催のお知らせ

共催 教育システム情報学会関西支部

#### 情報教育研究部会（部会長/山本恒）

今年度最後になります研究部会です。今回は、「テレビ会議システムとインターネットを併用した遠隔共同発表会」ということで、下記のとおり東京会場と大阪会場と同時に研究会を開催する新しい試みです。

ご興味のあるかたがたのたくさんのご参加をお待ちしています。

1. 日 時：2000年3月21日（火） 13：00～
2. 開催場所：東京会場 / 工学院大学新宿校舎（新宿区西新宿1-24-2, Tel 03-3342-0485）,  
大阪会場 / 園田学園女子大学（尼崎市南塚口町7-29-1, Tel066424-2188）
3. 内 容：  
（東京会場 / 工学院大学新宿校舎）
  - 1) テレビ会議システムと情報教育への応用  
杉本容一・富永英世（日立電線）
  - 2) 社会人教育の一環としての情報教育  
山下昌子（立教大）、竹本宜弘（工学院大）
  - 3) 家政学系における栄養情報教育  
松下孝太郎（鎌倉女子大学短期大学部）、年森敦子（鎌倉女子大学）
  - 4) 現行GUIの設計思想および教育方法についての覚え書き（2）  
メーラとブラウザへの対応を中心に  
築雅之（日本工学院専門学校）、竹本宜弘（工学院大学）、渋井二三男（城西大学）  
（大阪会場 / 園田学園女子大学）
    - 1) 文科系におけるプログラミング教育の実践と考察  
橋本はる美・佐野蘭美（摂南大学）、山本麻沙代・高橋参吉（大阪府立工業高専）、  
松永公廣（摂南大学）
    - 2) 幼児がマルチメディアソフトで遊ぶ環境に関する考察 保護者のアンケート結果をもとに  
堀田博史・金城洋子（園田学園女子大学）、高橋純（富山大学大学院）、  
新田恵子（園田学園幼稚園）

### 3) インターネット大学に向けての実験 その概要と教育システムの考え方

山本恒・原克彦・五島邦治・植野雅之・小田桐良一・宇治典貞（園田学園女子大学）

問い合わせは、担当幹事へ

原 克彦（園田学園女子大学情報教育センター）E-mail：hara@sonoda-u.ac.jp

竹本宜弘（工学院大学）E-mail：take@sin.cc.kogakuin.ac.jp

松永公廣（摂南大学経営情報学部）E-mail：ey4k-mtng@asahi-net.or.jp

上記の内容については学会ホームページ（<http://www.jsise.org/>）にも掲載しています。情報教育研究部会の項目をご覧ください。

第1報

## 教育工学関連学協会連合 第6回全国大会のお知らせ

世界が、日本が、文部省が、そして学校現場が、ミレニアムに向けた教育の歴史的転換に挑戦しています。超長期的視野で、IT（情報技術）革命社会に向けた教育改革・大学改革の推進、地域教育力の強化が期待されています。この転換期に「教育工学関連学協会連合・第6回全国大会」を鳴門教育大学において開催し、日本の教育改革を推進する新しい教育工学のあり方を、全国の研究者・教師の方々と議論できることは、意義深いことと思っております。

全国大会での多くの議論の中から、豊かな学校教育の実現に向けた改革の方向性・新しい研究の世界が芽生え、教育工学研究がより一層飛躍する大会となることをことを願っております。より多くの皆様にご参加いただけますように、この機会を利用してご案内申し上げます。

第6回全国大会実行委員長長木村捨雄

### 1. 参加学協会

主 催：教育工学関連学協会連合運営委員会

合同主催：日本教育工学会，教育システム情報学会，日本教育メディア学会，国立大学教育実践研究関連センター協議会，電子情報通信学会教育工学研究専門委員会

共 催：日本科学教育学会，日本教育方法学会，日本認知科学学会，人工知能学会知的教育システム研究会，情報処理学会コンピュータと教育研究会

### 2. 大会日程

10月7日（土）

10:00 ~ 12:00 一般研究発表 1

12:00 ~ 13:20 教育システム情報学会総会，日本教育メディア学会総会

昼 食

13:30 ~ 15:30 シンポジウム

15:45 ~ 17:45 課題研究発表 1

18:00 ~ 20:00 自主シンポジウム

10月8日（日）

10:00 ~ 12:00 一般研究発表 2

12:00 ~ 13:20 日本教育工学会総会，昼食

13:30 ~ 15:30 シンポジウム

15:45 ~ 17:45 課題研究発表2

18:30 ~懇親会

10月9日（月・祝日）

10:00 ~ 12:00 一般研究発表3

12:00 ~ 13:00 昼食

13:00 ~ 15:00 一般研究発表4，English Session

15:15 ~ 17:15 Special Session

3．会 場：鳴門教育大学学校教育学部

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748

4．シンポジウム・課題研究

現在，教育工学関連学協会連合運営委員会および合同主催の各学協会にて検討中です。詳細については第2報にてご連絡します。

5．自主シンポジウム

分科会場の都合がつく限り，自主シンポジウムの開催をお受けします。希望される方は，6月30日までに下記実行委員会までご連絡ください。

6．一般研究

合同主催および共催の各学協会の会員の方々の研究発表をお待ちしています。研究発表は次のような領域が考えられますが，この例示に限定するものではありません。学習コンテンツ設計・開発，教育メディア，マルチメディア，インターネット，協調学習・協同学習，学習環境，教育情報ネットワーク，遠隔学習・遠隔教育，e-school，IT（情報技術）リテラシ，情報教育カリキュラム，情報教育実践支援環境，CAI，知的学習支援システム，教育用知的インタフェイス，教育ソフトウェア開発，教育方法，授業研究，授業実践，授業改善，教育評価，教育情報数理解析，インストラクショナルデザイン，カリキュラム開発，教材設計開発，語学教育，教職専門性開発（PDS），教師教育，看護・福祉教育，障害児（者），特殊教育，認知・発達，その他

7．研究発表申込み・発表原稿提出の期限

次のように予定しております。詳細については次号以降にお知らせします。

（1）研究発表申込期限2000年6月30日（金）必着

（2）発表原稿提出期限2000年8月18日（金）必着

8．大会問い合わせ連絡先

鳴門教育大学学校教育学部 教育工学関連学協会連合第6回全国大会実行委員会

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748 専用携帯電話 090-8282-4960，

FAX 088-687-2180 E-mail：jcet6@naruto-u.ac.jp URL：http://www.naruto-u.ac.jp/jcet6/

\*2000年度の教育システム情報学会の総会は，この時期に行われます。

## 教育システム情報学会

### 研究委員会（委員長 / 大下真二郎）からのお知らせ

教育システム情報学会研究委員会（委員長 / 大下真二郎）は、近く 2000 年度の研究会の持ち方や日程について協議する予定だが、2つの研究部会がすでに予定されているので、下の囲みと次ページの囲みで紹介する。ご参照ください。

2000年度も6つの研究部会が開催を予定

新年度も6つの研究部会が予定されています（知識・言語処理応用研究部会は今年度は行わなかった）が、上述した2つの部会以外は、まだ日程や会場が確定していないので、今後のニューズレターでお知らせしていくことにしています。なお、研究会の回数はすべての研究会が決定していないので付けていません。ご了承ください

さい。各部会の問い合わせは、それぞれの部会長にお問い合わせください。

知識・言語処理応用研究部会

E-mail : itoh@te.noda.sut.ac.jp (伊藤紘二)

企業内教育研究部会

E-mail : komatu@azb.nttts.co.jp (小松秀園)

CAI 研究部会

E-mail : kurose@info.hiro.kindai.ac.jp (黒瀬能幸)

インターネットと教育応用研究部会

E-mail : yokoyama@cs.u-gakugei.ac.jp (横山節雄)

情報教育研究部会

E-mail : yamamoto@sonoda-u.ac.jp (山本恒)

マルチメディア教材研究部会

E-mail : yisomoto@cc.nagoya-cu.ac.jp (磯本征雄)

## マルチメディア教材研究部会のご案内

（部会長/磯本征雄）

昨年発足をしたマルチメディア教材研究部会の第2回目にあたる研究会を下記の日程、会場で企画しました。マルチメディア教材の理論、開発、実践の研究発表を募集します。ご参加をお待ちします。

1. 日 時：2000年7月22日（土） 10：00～16：00

2. 開催場所：名古屋市立大学（予定）

3. 申 込 先：名古屋市立大学自然科学研究教育センター 磯本征雄

E-mail: 受付事務担当 itous@tcp-ip.or.jp（伊藤敏）。または、教育システム情報学会事務局

4. 申し込み方法：上記申し込み先へ 下記の内容を電子メールして下さい。

発表申込み要項

（1）発表題目

（2）発表者すべてのお名前，所属

（3）発表代表者のお名前，郵便の届く連絡先，電子メールアドレス，後日，論文執筆要項を送付します。

5. 申込締切：2000年5月31日（水）

6. 論文締切：2000年6月30日（金） 本部事務局必着

7. 問い合わせ先：本研究会担当 伊藤敏 itous@tcp-ip.or.jp，または URL <http://www.tcp-ip.or.jp/> itous/jsisemmm/ 参照

\* 前回は参加者数40名，講演数12件でした。詳しくはニューズレター103号をご参照下さい。

# 言語・知識処理応用研究部会のご案内

( 部会長/伊藤紘二 )

6月に開催を予定

標記研究会につきましては、活動予告をさせていただいてから、だいぶ日時がたってしまいましたが、ようやく研究部会のホームページをつくりましたので、下記 URL でアクセスしてみてください。

<http://www.itlb.te.noda.sut.ac.jp/itoh/nlkp/nlkp.html>

なお、JSiSE のホームページからも入れます。

さて、近年、自然言語処理、知識処理の分野が、新しい展開を見せています。それにもかかわらず、知的学習支援システムの分野の研究者が、思ったほど増えていません。そこで、このあたりで、知的学習支援システムの研究のあり方を吟味反省する一方、この分野の研究者が持っているノウハウを公開し合って、新しい研究者が参入しやすい環境を作ること、ならびに、自然言語処理、知識処理の分野の新しい方法に学んで独自の進展を図ることを目的として、言語・知識処理応用研究部会の活動をはじめたいと思います。

この研究部会に参加ご希望の方は、上記ホームページからメーリングリストへ登録していただくか、[itoh@te.noda.sut.ac.jp](mailto:itoh@te.noda.sut.ac.jp)宛、ご所属、連絡先住所、電話とFAX番号、メールアドレスをお送り下さい。リンクさせていただけるページのURLもお願いします。

応募された方々は、メーリングリストに部会員として登録され、この方々には、メーリングリストアドレスと、ディスカッションページのURLをお知らせします。

まず、資源公開共有のための活動として、公開して良いとお考えの解説、論文、提案、ソフトウェアなどへアクセスするためのURLをmailing-listアドレスに送っていただきたい。ディスカッションページからそのURLへ、リンクを張らせていただきますので、部会員は、これらの情報にアクセスできます。更新情報は、mailing-listによって部会員にお知らせします。

そのほか、当面は日時をとくに定めずに、Webサーバ上に作ったディスカッションツールを使っただいて、非同期のディスカッションを行います。

そして、電子的に行われた研究会活動を踏まえて、年に一度、顔をあわせての研究会を行なう予定にしています。

本年6月に第1回の研究発表会を持つ予定です。

研究部会では、知的学習支援システムの目指すべきゴールと研究の仕方について議論を巻き起こして、知的学習支援をどしどし現実のものにしてゆける道をつけたいと考えています。言語・知識処理応用研究部会への多くの研究者の参加と活発な議論を期待します。

## 教育システム情報学会 中国支部が設立総会をおこないます。

本会の中国支部設立が先の総会で決定されましたが、このほど、次の日程で設立総会が開催されます。みなさま方におかれましては、ご参席いただけますようご案内いたします。

日時・場所：2000年3月25日（土） 岡山理科大学

問い合わせは同支部の黒瀬能津支部長（e-mail：[kurose@info.hiro.kindai.ac.jp](mailto:kurose@info.hiro.kindai.ac.jp)）へ。

# 日本学術会議50周年記念シンポジウム

## 数学教育の改善をめざして

1. 共催 日本学術会議第4部 科学教育研究連絡委員会, 数学研究連絡委員会, 統計学研究連絡委員会
2. 日時 平成12年3月24日(金) 10:00~17:30
3. 会場 日本学術会議 営団地下鉄千代田線乃木坂駅下車 徒歩約2分
4. 目的

算数, 数学教育は, 数的操作, 論理的思考力を育てる基礎教科として重要と考えられています。数学教育はどんな能力を育てているのでしょうか。どんな点で他の教科の教育に貢献しているのでしょうか。他の教科は数学教育に何を期待しているのでしょうか。これらを主題として, 数学教育をどう改善していったらよいかを話し合いたいと思っています。多くの関係者の集まりを期待しています。

5. 次第
- 10:00~12:00

- 挨拶 和田昭允(日本学術会議第4部長)
- 問題提起 算数・数学教育の貢献 藤田 宏(東海大学教授・ICME-9実行委員長)
- 第1部 数学教育とはどんな能力を育てるのか
- 司会 数学研究連絡委員会委員長 上野健爾(京都大学大学院理学研究科教授)
- 提案: 数学, 数学教育, 図学, 統計学の各学会代表
- 日本数学会 浪川幸彦(名古屋大学多元数理科学研究科教授)
- 日本統計学会 柳川 堯(九州大学大学院数理科学研究科教授)
- 日本図学会 鈴木賢次郎(東京大学大学院総合文化研究科教養学部教授)
- 日本数学教育学会 正田 實(元滋賀大学教授)
- コメント: 研連所属の他教科学会の学会代表
- 日本科学教育学会 下條隆嗣(東京学芸大学教育学部教授)
- 日本地学教育学会 水野孝雄(東京学芸大学教育学部教授)

- 第2部 数学教育は理科, 技術, 情報等の教育の基礎たりうるか

- 13:00~15:00

- 司会: 統計学研究連絡委員会委員長 吉村 功(東京理科大学工学部教授)
- 提案: 数学, 数学教育, 統計学, 図学の各学会代表
- 日本数学会 岡本和夫(東京大学大学院数理科学研究科教授)
- 日本応用数学会 櫻井武一(東京電力フェロー)
- 日本数学教育学会 石垣春夫(早稲田大学総合教育研究所所長)
- 日本統計学会 岸野洋久(東京大学農学部・生物測定学研究室教授)
- 日本図学会 鈴木賢次郎(東京大学大学院総合文化研究科教養学部教授)
- コメント: 研連所属の他教科学会の学会代表
- 日本科学教育学会 遠西昭寿(愛知教育大学教育学部教授)
- 日本地学教育学会 坪田幸政(慶応高校教諭)
- 化学ソフト学会 吉村忠与志(福井高等専門学校物質工学科教授)
- 教育システム情報学会 対馬勝英(大阪電気通信大学教授)

- 第3部 数学教育に何を望むか

- 15:30~17:30

- 司会: 科学教育研究連絡委員会委員長 坂元 昂(文部省教育メディア教育開発センター所長)
- 提案: 科学, 物理, 化学, 生物, 地学, 理科, 環境, 技術, 情報の各学会代表
- 日本科学教育学会 木村捨雄(鳴門教育大学学校教育学部教授)
- 日本理科教育学会 村山治太(横浜国立大学教育人間科学部助教授)
- 日本物理教育学会 広井 禎(筑波大学附属高等学校教諭)
- 日本化学会 細矢治夫(お茶の水女子大学理学部教授)
- 日本地学教育学会 松森晴夫(山梨大学教育人間科学部助教授)
- 日本環境教育学会 鈴木善次(日本環境教育学会・科学教育研連委員)
- 日本教育工学会 松田稔雄(東京工業大学大学院社会理工学研究科助教授)
- コメント: 数学, 数学教育, 統計学, 図学の各学会代表
- 日本応用数学会 杉原厚吉(東京大学大学院工学研究科教授)
- 日本数学教育学会 長崎米三(国立教育研究所科学教育センター室長)
- 日本統計学会 大瀧 慈(広島大学原爆放射能医学研究所・教授)
- 日本図学会 鈴木賢次郎(東京大学大学院総合文化研究科教養学部教授)

各学会へのお願い(提案者・報告者へのご連絡)

1. 第1部, 第2部, 第3部ごと, 提案者(報告者)は, ワープロA4 1枚くらいの発表要旨を当日60枚ご用意下さい。
2. 第1部の発表時間は一人10分。できるだけコメント, 討議の時間を増やしたいと存じます。
3. 第1回目ですので, 講演ではなく, 論点をはっきりさせて, 自由討議とするのがよいと存じます。発表者は肩をはずす気楽にお話下さるようお願い申し上げます。
4. 第2部, 第3部は, いろいろな立場が入り乱れての自由討議風にしてはいかがでしょうか。各人は5分以内の意見発表をすることにしたく考えています。

日本学術会議「科学教育研究連絡委員会」委員長 坂元 昂(文部省教育メディア教育開発センター所長)

諸連絡は下記の者に連絡下さい。

木村捨雄鳴門教育大学  
日本科学教育学会会長  
日本学術会議「科学教育研究連絡委員会」幹事〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748  
Phone 088-687-6269 088-687-2180 Fax 088-687-2180 e-mail:kimuras@naruto-u.ac.jp

## 国際会議の案内

ここで紹介されている国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れているCFP情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますのでそちらのほうもお待ちしております。

本案内はWWW ( <http://www.fu.is.saga-u.ac.jp/hayashi/jsise/conf.htm> ) で見ることもできます。

### CSCW 2000: Conference on Computer-Supported Cooperative Work 2000

開催日程：2000年12月2-6日

主催：ACM

開催地：Philadelphia, Pennsylvania, USA

論文応募締切：2000年4月28日

URL: <http://www.acm.org/sigchi/cscw2000/index.html>

e-mail: [cscw2000-info@acm.org](mailto:cscw2000-info@acm.org)

(以下、前号にも掲載)

### WEL 2000: Workshop on Web-based Education and Learning

開催日程：2000年6月18日

主催：ACM Hong Kong Chapter

開催地：Hong Kong

論文応募締切：2000年3月15日

URL: <http://www.cs.cityu.edu.hk/wise2000/>

e-mail: [yano@is.tokushima-u.ac.jp](mailto:yano@is.tokushima-u.ac.jp)

### ICC 2000: International ICSC Symposium on INTERACTIVE AND COLLABORATIVE COMPUTING

開催日程：2000年12月12日-15日

主催：ICSC(International Computer Science Conventions)

開催地：University of Wollongong (near Sydney), Australia

論文応募締切：2000年3月31日

URL: <http://www.icsc.ab.ca/152-info.htm>

e-mail: [ogata@is.tokushima-u.ac.jp](mailto:ogata@is.tokushima-u.ac.jp)

### AAAI Fall Symposium 2000: Building Dialogue Systems for Tutorial Applications

開催日程：2000年11月3日-5日

主催：SIGDIAL, the Special Interest Group on Dialogue of the

Association for Computational Linguistics

開催地：Sea Crest Oceanfront Resort and Conference Center in North Falmouth, MA (Cape Cod), USA

論文応募締切：2000年3月29日

e-mail: [rosecp@pitt.edu](mailto:rosecp@pitt.edu), [freedrk+@pitt.edu](mailto:freedrk+@pitt.edu)

### ICCE/ICCAI 2000: International Conference on Computers in Education/International Conference on Computer-Assisted Instruction 2000

開催日程：2000年11月21-24日

主催：APC of AACE

開催地：The Grand Hotel, Taipei, Taiwan

論文応募締切：2000年05月01日

URL: <http://icce2000.nthu.edu.tw/>

e-mail: [icce2000@tcfst.org.tw](mailto:icce2000@tcfst.org.tw)

国際会議案内文責 松原行宏 (香川大学)  
[matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp)

4月1日

まもなく 2000 年特集号論文 締め切ります。  
テーマは「インターネット技術と教育」です。

採録論文は秋号に掲載！

対象分野：インターネットを利用した教育システム，インターネット技術を活用した教育実践など，  
インターネット技術と教育に関係する研究および実践全般。

論文種別：今回募集する論文の種別は，「原著論文」，「実践論文」，「ショートノート」，「実践速報」，  
「資料論文」である。ただし，査読の結果，異なる種別での採録となることもある（論文種  
別については，「学会誌原稿執筆要領」を参照のこと）。なお投稿の際，原稿の1ページ目に，  
論文種別と特集号であることを，必ず明記すること。

制限枚数：「学会誌原稿執筆要領」に記載されている，論文種別による制限枚数のとおりとする。

投稿締切：2000年4月1日事務局必着。

寄稿の手続き：封筒の表に必ず「特集号・論文原稿在中」と朱書きで記すこと。その他の寄稿の手続  
きについては，「学会誌原稿執筆要領」に記載されているとおりとする。

連絡先・原稿送付先：教育システム情報学会事務局

〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2 工学院大学情報科学センター内

Tel:03-3342-0485 Fax:03-3340-0135 E-mail:secretariat@jsise.org URL <http://www.jsise.org/>

新年度（2000年度）の会費請求をしています。

会費の前納にご協力ください。

まもなく年度末です。4月から新年度（2000年度）が始まりますので，新年度会費を同  
封の請求書のとおりご請求をさせていただきます。よろしくおねがい申し上げます。

学会の諸活動は会員みなさまからの会費で運営しております。近年，2年，3年とまとめて  
納入される方もいらっしゃいますが，学会は単年度予算で運営しています。1年単位の会費納  
入にご協力ださるようお願いいたします。

請求書発行時の行き違いについてはご容赦ください。また，不明な点についてはまことに  
お手数ですが，事務局へメールでお問い合わせくだされば幸いです。

E-mail : secretariat@jsise.org

同封の振込用紙をご利用ください。

財団法人電気通信普及財団は，海外の学会で電気  
通信に関する研究発表を行う研究者に渡航旅費を援  
助する。また，同じく電気通信に関する学術会議，

シンポジウム，セミナーの開催等，電気通信の普及  
振興に著しく貢献する事業に援助がある。詳しくは  
URL : <http://taf.or.jp/>まで。